

令和元年度第1回 藤久保地域拠点施設基本計画検討委員会 議事録

1. 日 時：2019年9月6日（金）10:00～12:00

2. 場 所：三芳町役場 3階 302会議室

3. 出席者：三芳町長 林 伊佐雄

杉崎和久委員（委員長）、阿部英雄委員、伊藤敏彦委員、大貫豊彦委員、尾崎恒男委員、児島新衛委員、佐藤和秀委員、塩野重光委員、多胡晴子委員、三ツ木紀夫委員、横山八重子委員、当新卓也委員（欠席：数馬田惟委員）

事務局 政策推進室 室長 島田高志 主幹 富田篤 技師 新村優宗
受託事業者

4. 委員長の互選

委員長を杉崎和久氏とする。

5. 傍聴の可否について

三芳町審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、原則公開とする。なお、審議の内容により同指針に基づき傍聴を不可とすることができるものとする。

第1回検討委員会について、傍聴を可とする。 傍聴者1名

5. 審 議：（1）藤久保地域拠点施設基本構想の概要

（2）今年度の検討委員会の進め方及び今後のスケジュール

（3）藤久保地域拠点施設基本計画について

（4）その他

6.内容（結果）

【委員会の位置づけの整理等】 杉崎委員長

- ・基本計画について、最終的な決定は町が行う。本委員会の役割は、町の考え方に対して意見をあげて、より良い計画となるよう助言等を行う。
- ・初年度は施設の規模やサービスなどの検討。2年目は事業実現のための民間活力の活かし方など、財政的な内容についての検討。
- ・基本構想をベースに大きく施設規模が変わることは無い。その中でどの部分を増やす、減らすの調整は行っていく。
- ・委員は各団体の代表。町からの提示に対し、委員が各団体にて検討できるようなスケジュールの余裕を求める。委員には、町の考えを理解してもらい、各団体に持ち帰り説明してもらおうという役割も担ってもらおう。視察や事例紹介など、委員の知識や理解を増やす工夫を望む。

【その他自由意見】

- ・商工会は構想にふくまれているが、立ち退きや移転などについてなんら合意に至っ

ていない。

⇒早期にヒアリングを実施する。

- ・民間の導入について、イメージがわからない。

⇒事例紹介など、委員の理解を進める。

- ・要望は活かされるのか。活かされないのであれば、個別に要望を続ける必要がある。

⇒要望について、全てに応えることは難しいが、解決策は示す。そういった要望を全体で話し合って解決を図る場。

- ・用途地域の変更など、地域全体の規制緩和なども含めて検討すべき。

⇒現状、そこまでは考えていない。安易にできない事情もある。ただ、そういったことも含めて検討が必要な大規模な事業であるため、2ヵ年目の民間のヒアリング結果なども含めて検討する。

- ・民間施設を増やすために公共施設が削られているように感じる。実際にあの場所に商業施設が入るとは思えない。災害に強い町などをPRして、サテライトオフィスなどなら可能性もある気がする。

⇒民間施設を増やすために、公共施設を減らすということはない。敷地としては、もっと大きな施設を建てられる可能性がある。公共施設の減床は、あくまで公共施設マネジメントの考え方から成るものである。

- ・モデルプランが出来ると、それで決定してしまうのではないか。

⇒あくまで、モデルプランは議論のためのたたき台。そこから調整や変更を行っていく必要があると考えている。

【連絡事項】

- ・次回、検討委員会で先進地視察（塩尻市市民交流センター えんぱーく）を実施。